

【めざす生徒像】

- ◆ 進んで勉強する生徒
- ◆ 礼儀正しい生徒
- ◆ 明るくたくましい生徒
- ◆ 感謝の心で、残さず食べる生徒



細野中くすのき便り

【第9号】

平成30年1月17日
文責 川越 哲朗
TEL 23-3611

平成30年、記念すべき節目の年となりました!

いよいよ平成30年が始まりました。この「平成」の年号が最後となる可能性のあるこの年が、生徒や保護者の皆様、細野中学校にとって素晴らしい発展の年になることを祈りたいと思います。さて、1月14日(日曜日)に実施いたしましたフリー参観授業、うどんづくりには多数の保護者の皆様方の御参加や御協力を賜り、誠にありがとうございました。また、新春根性行進は、全校生徒と保護者、職員が参加し、約12kmの道のりを行進して、菅原神社と霧島岑神社参拝を行うことができました。

1月から、1学年は「進路を考える会」、2学年は「立志式」、3学年は「私立高校入試」・「県立高校入試」などの受験に向け、それぞれの学年が準備を進めています。寒さが厳しい日が続きますが、生徒の体調管理に気を配りながら、平成29年度の残り約3カ月を乗り切っていきたいと思います。

【門松づくり】平成29年12月17日(日)

細野中学校の保護者と細野まちづくり協議会を中心とする地域の方々が、門松を製作して、本校の正門に飾っていただきました。

平成30年が、細野中学校にとって素晴らしい年となると思います。誠にありがとうございました。



【冬季休業明け全校集会】平成30年1月9日(火)

年明けの最初の集会において、1年生七夕蒼大君、2年生富永響君、3年生上別府優斗君、生徒会代表平川青空君が、それぞれ立派な年頭所感を発表してくれました。また、校長あいさつは、年始めのあいさつと以前読んだ本「日本一心を揺るがす新聞の社説2」の中からお話の一部を紹介しました。

【話の内容の抜粋】

ある日、ある芸術家の講演会と本の読み聞かせのコラボのイベントがあったそうです。講演の後に、会場からその芸術家に対して、こんな質問があったそうです。「どんな子育てをすればいいですか。」難しい質問ですね。どんな子どもに育てればいいのかということになりますが、皆さんは、どう思いますか。この芸術家は、迷わず、「『ありがとう』と『ごめんなさい』がきちんとと言える子どもに育ったら、子どもも百点満点、育てた親も百点満点」と言われたそうです。さすがですね。この二つは、大変大切なことばだと、私も思います。『ありがとう』を素直に言う時には、相手の思いや行いをしっかりと受け止めることができ、自分の中の感謝の思いをきちんと感じられている心の状態といえます。『ごめんなさい』を素直に言う時には、周りの状況に照らし合わせて自分の落ち度や失敗をきちんと認められている心の状態といえます。人間が、社会の中で生きる上で、大切な心の状態が、ことばとして表れています。皆さんは、『ありがとう』と『ごめんなさい』、この二つのことばを、素直に口に出すことができますか。これから、みなさんも、『ありがとう』と『ごめんなさい』、この二つのことばを一層大切にしてください。



【フリー参観日・新春根性行進】平成30年1月14日(日)

フリー参観には、多数の保護者の方々の授業参観をいただきました。また、新春根性行進における交通安全指導とうどんづくりに関しまして、PTA役員を中心に多数の保護者の方々の御協力を賜り、誠にありがとうございました。大変、うどんをおいしくいただきました。根性行進は、全校生徒が参加し、菅原神社と霧島岑神社に参拝し、祈願することができました。



【うどんづくり(家庭科室)】

【新春根性行進】